

2006年高松宮記念杯観戦記

加来 浩

まず、フライトB～Fの結果から。
それぞれ優勝メンバーは以下の通りです。
(敬称略)

フライトB：Hein 賀子、小平邦夫、
宮崎昭夫、藤原良二
フライトC：西脇 透、細田博之、難波田愈、
能勢俊郎、北条旬、佐野久弥
フライトD：上田邦夫、海和文夫、秋田賢一、
上中幸代、吉見英哲
フライトE：中島千尋、名草俊比古、
山本隆夫、山口俊郎
フライトF：鍋島進、大石巖、大谷明、
鍋島あい子
おめでとうございます。

フライトA

序盤は例年になく？順当に上位シードが勝ち上がる展開。一部の上位チームがずば抜けてきているのか、それとも人材が少なくなってきたのかなどと思ったり。学生を卒業して約10年の我がチームが、毎年平均年齢最年少という状況がそろそろ変わって来てくれないか、その日が来るのはいつなのかなどと思いつつ。

さて、2週目の土曜日。^{おもて}表の決勝戦を争う2チーム、TAJIMAとNAITO。TAJIMAチームが65-32で勝ち、決勝戦の最初の席を確保する。その一方で、日曜日への参加資格を得るべく、まずはHANAとKYAZ。優(A)の数が多いチームの勝ち。

そしてもう1試合、海千山千チームと吉田勝チームからハンドを1つ。あなたはWでセカンドハンドのパートナーが1♣オープン。以下のようにビッドが進む。

| | | |
|-----------|-----|-----|
| ♠ Q 9 4 | W | E |
| ♥ J 10 | | 1 ♣ |
| ♦ J 9 7 4 | 1 ♦ | 1 ♥ |
| ♣ A 8 6 3 | ? | |

1NTという、その後パートナーの3♣のビッドに展開が苦しくなり、最終コントラクトは3NT。

| | | |
|-----------|--|----------------|
| ♠ Q 9 4 | | ♠ K 7 |
| ♥ J 10 | | ♥ A K 9 4 |
| ♦ J 9 7 4 | | ♦ A |
| ♣ A 8 6 3 | | ♣ K 10 9 7 5 2 |

もう片方のテーブルでは、上記1♥までの流れは一緒に、2♣とWがビッド。その後、それほど苦もなく6♣に到着。♣がアンラッキーな形ではなかったため、容易に6メイク。この対戦は吉田チームが勝ち。

土曜日の夕方からは、日曜日への参加資格を得るべく、HANAチームと吉田チームの対戦が始まる。

次のハンドでパートナーが1♥でオープン。

| | | | |
|-------------|-----|---|-----|
| ♠ A J 3 | | | |
| ♥ A 10 5 | | | |
| ♦ A J | | | |
| ♣ A 8 6 5 3 | | | |
| W | N | E | S |
| | 1 ♥ | P | 2 ♣ |
| P | 2 ♦ | P | 2 ♥ |
| P | 4 ♥ | P | ? |

パートナーのシャットアウトビッドにも若干の未練をもち、4♠とキュービッド。パートナーのつれない5♥のビッドにパスを送ったところから話が始まる。

| | | | |
|-----|-----|-----|----------|
| W | N | E | S |
| | 1 ♥ | P | 2 ♣ |
| P | 2 ♦ | P | 2 ♥ |
| P | 4 ♥ | P | 4 ♠ |
| P | 5 ♥ | P | P |
| Dbl | P | P | 5 NT |
| P | P | Dbl | All pass |

全く予定していなかった自分がプレーする
 コントラクトとなる。

◇9のリードが来て、ダミーが開く。

♠K
 ♥KQJ62
 ◇Q862
 ♣1042

OL:◇9

| | | |
|---|---|---|
| | N | |
| W | | E |
| | S | |

♠AJ3
 ♥A105
 ◇AJ
 ♣A8653

ダミーから小さいカードを引くと、右も小さいカードを出し、Jの勝ち。♣のブレイクはビッドから確認できているので(ダブルはライトナーダブル-♣要求)、♣でスローインして♠Jが勝つか、◇でスローインして♠Jが勝つか。正当なメイクチャンスを追求するのであれば♣の長い人が♠Qを持っている形を期待するのが確率が高い。

#21

ディーラ: N

NSバル

♠K
 ♥KQJ62
 ◇Q862
 ♣1042

| | | |
|---|---|---|
| | N | |
| W | | E |
| | S | |

♠97654
 ♥98
 ◇K109743
 ♣--

♠Q1082
 ♥743
 ◇5
 ♣KQJ97

♠AJ3
 ♥A105
 ◇AJ
 ♣A8653

◇Jが勝ち、◇Aをはがして、♥を5個キャッシュすると、実際のハンドは♣の長い人がディスカードに困るので、♠Jか♣の小さいカードがいずれは勝つ形。だったけれど…。

5NTダブルド1ダウン。裏は4♥メイク。

最終的なスコア(IMP)は引き分けで、トータルポイントで HANA の勝ち。筆者への誕生日プレゼントはもらえず。実は上記のコントラクト、ノンダブルなら1IMP筆者チーム(吉田チーム)の勝ち。ダブルはやはりドラマを生む。

さて、日が変わり日曜日。まず、残りの決勝戦の座を賭けて、NAITO と HANA。

| | N | S |
|----------|----|----|
| S | | |
| ♠AJ | | 2♣ |
| ♥AKQ1054 | 2◇ | 2♥ |
| ◇10 | 2♠ | 3♣ |
| ♣AK74 | 4♣ | 4◇ |
| | 4♠ | 6♣ |

パートナーのキュービッドで♠Kがわかり、勝負とばかりに6♣。

#2

ディーラ: E

NSバル

♠K10742
 ♥J3
 ◇86
 ♣8653

| | | |
|---|---|---|
| | N | |
| W | | E |
| | S | |

♠Q953
 ♥9862
 ◇AJ975
 ♣--

♠86
 ♥7
 ◇KQ432
 ♣QJ1092

♠AJ
 ♥AKQ1054
 ◇10
 ♣AK74

◇Aのリードが来てダミーが開く。正当なデキメは0%。続く◇をラフして♣Aをキャッシュすると、片方がディスカード。HAHAと笑うしかないが、もう一方のテーブルのコントラクトが3♥と知る由はない。これもブリッジ。前半は36対40と僅差の試合をするも、後半大差がつき、決勝戦のもう一つの席は、NAITO に。

決勝

TAJIMA：田嶋美津江、寺本直志、井野正行、今倉正史、陳大偉

NAITO：内藤佐紀子、天野亜矢子、宮国健次、清水康裕、田中陵華、原田智幸

TAJIMA と NAITO の再戦となった決勝は、いきなり土砂降り。

#1
 ディーラ：N
 双方ノンバル

| | | |
|--------------|--|-----------|
| ♠ A J 10 3 | | ♠ 7 5 4 2 |
| ♥ Q 10 9 3 2 | | ♥ A J 4 |
| ♦ 4 3 | | ♦ A K 10 |
| ♣ Q 10 | | ♣ A K 7 |

♠ Q 6
 ♥ 8 5
 ♦ Q 8 7 2
 ♣ 9 8 5 3 2

オープンルームでは、Eのストロング1♣からリレーが始まる。ビディングスペースには余裕があったが、必要な絵札に余力なしと判断し、最終コントラクトは4♠。

クローズドルームでは、ナチュラル1♣オープンから始まり、

| | |
|------|-------|
| W(陳) | E(寺本) |
| | 1♣ |
| 1♥ | 2NT |
| 3♦ | 4♥ |
| 4♠ | 5♣ |
| 5♥ | 6♥ |

4♠はキュービッドで、パートナーのハンドが理想的ならばスラムが出来るかもといったところか。♦Kが♥Kになるとか。いずれにしても最終コントラクトは6♥。必要な絵札は最低限しかないが、それをミドルカードが辛うじて支えている。6♥をプレーするサイドにとっては都合のよい形、ディフェンスするには都合の悪い形になっていたため、ややラッキーな11IMPがTAJIMAに。

#3
 ディーラ：S
 EWバル

| | | |
|-------------|--|-------------|
| ♠ K 10 | | ♠ 9 7 6 5 2 |
| ♥ K 9 | | ♥ 8 4 3 2 |
| ♦ J 10 7 3 | | ♦ A |
| ♣ Q 9 6 4 2 | | ♣ J 10 3 |

♠ Q 8 4 3
 ♥ A Q 5
 ♦ K 9 8 2
 ♣ K 5

コントラクトはNSの3NTだが…。

クローズドルームでは(NS清水-宮国)強い方(S)の3NT。♣のリードが来て、10をKで勝つ。2トリック目の候補は、黒いスート(♠)の3か、赤いスート(♦)の892。♠を出せばこの形はWが困る形になるのだが、大きい数字を出したので、メークチャンスはなくなった。

オープンルームは弱い方(N)の3NT。♣リードをすればプレー勝負になったのだが、Wはテンポを助ける♠リード。2トリック目に♦を出し、ディフェンダーのダウンチャンスはなくなった。11IMPが再びTAJIMAに。

7番ボードで14IMPが再びTAJIMAに動き、この時点で39-0。

#13
 ディーラ：N
 双方バル

| | | |
|------------------|--|-------------------|
| ♠ 2 | | ♠ 8 |
| ♥ K J 10 9 8 5 2 | | ♥ -- |
| ♦ 8 5 3 | | ♦ A K Q 2 |
| ♣ 8 4 | | ♣ A K Q 9 7 5 3 2 |

♠ A Q J 7 6 5 3
 ♥ 6 4
 ♦ 9 7 4
 ♣ 6

オープンルーム

| | | | |
|-----|-----|-----|----------|
| W | N | E | S |
| 田中 | 井野 | 原田 | 今倉 |
| | P | 1 ♣ | 3 ♠ |
| Dbl | 4 ♠ | 6 ♣ | All pass |

クローズドルーム

| | | | |
|---|-----|-----|----------|
| W | N | E | S |
| 陳 | 清水 | 寺本 | 宮国 |
| | 1 ♠ | 6 ♣ | 6 ♠ |
| P | P | Dbl | All pass |

強い手が何度もビッドできる保証はない。6 ♣のプレーは、♣を1回取った後は、♠を3回キャッシュする。途中でラフされるときには正当にはメークしないコントラクト。全員がフォローすればドロートランプしてクレーム。どちらかがフォローしなくても、ラフできないときには、最後の♠をダミーでラフして出来上がり。8-2フィットのトランプでもこういう形になることがある。

#15

| | | |
|-------------|----------------|------------------|
| ディーラ: S | ♠ -- | ♠ A 7 5 3 |
| NSバル | ♥ J 10 9 7 6 4 | ♥ Q 2 |
| | ♦ 7 4 3 | ♦ A J 9 8 6 |
| | ♣ A J 10 4 | ♣ 7 5 |
| ♠ K 8 | | ♠ Q J 10 9 6 4 2 |
| ♥ A K 8 5 3 | | ♥ -- |
| ♦ Q | | ♦ K 10 5 2 |
| ♣ K Q 9 6 3 | | ♣ 8 2 |

オープンルーム

| | | | |
|-----|-----|------|----------|
| W | N | E | S |
| 田中 | 井野 | 原田 | 今倉 |
| | | 2 ♠ | |
| 4 ♣ | P | 4 ♠ | P |
| 4 ♥ | Dbl | Rdbl | All pass |

これもブリッジ。4NTとビッドすると、メークはしないがマイナスの数字が1桁減る。

トランプリードから始まり、コントラクトは3ダウン。クローズドルームではSの♠のコントラクトが捕まり合計18IMPがTAJIMAに。

最後のボードで12IMPを取り返したものの、TAJIMAチームが30IMPのリードで後半に。

後半、最初のボードで、NAITOのEWに事故が発生し、14IMPがTAJIMAに。

その後5IMP級の数字が数ボードずつならば、TAJIMAの40IMPリードの状態で残り5ボード。

#28

| | | |
|---------------|---------------|---------------|
| ディーラ: W | ♠ 10 9 7 6 | ♠ K J 8 |
| NSバル | ♥ A K 9 8 6 2 | ♥ -- |
| | ♦ -- | ♦ A Q J 4 2 |
| | ♣ Q 6 2 | ♣ A 9 8 5 3 |
| ♠ Q 5 2 | | ♠ A 4 3 |
| ♥ 10 | | ♥ Q J 7 5 4 3 |
| ♦ K 9 8 7 5 3 | | ♦ 10 6 |
| ♣ K J 10 | | ♣ 7 4 |

オープンルーム

| | | | |
|-----|-----|-----|----------|
| W | N | E | S |
| 田中 | 井野 | 原田 | 今倉 |
| 2 ♠ | 2 ♥ | 4 ♥ | 5 ♥ |
| P | P | 6 ♠ | All pass |

クローズドルーム

| | | | |
|-----|-----|-----|----------|
| W | N | E | S |
| 陳 | 清水 | 寺本 | 宮国 |
| P | P | 1 ♠ | P |
| 2 ♠ | 2 ♥ | 4 ♥ | P |
| 5 ♣ | P | 6 ♠ | All pass |

ともにコントラクトは6♠。♠AがSにあることがわかった状態で、♣Qのゲス。独身にはお姫様をつかまえることは難しいようで、クローズドルームは1ダウン、14IMPが

NAITO に。

| | |
|------------|----------------|
| #30 | ♠ K 6 |
| ディーラ: E | ♥ K Q 9 7 |
| 双方ノンバル | ♦ K 4 3 |
| | ♣ K 9 4 2 |
| ♠ Q 10 8 2 | ♠ J 5 4 |
| ♥ 8 6 5 4 | ♥ 3 2 |
| ♦ 9 | ♦ Q 10 8 7 5 2 |
| ♣ Q J 8 5 | ♣ 10 6 |
| | ♠ A 9 7 3 |
| | ♥ A J 10 |
| | ♦ A J 6 |
| | ♣ A 7 3 |

コントラクトは TAJIMA は 6 N T で、NAITO が 4 N T。ともに 11 トリックを取り、NAITO に 11 I M P が入り、残り 2 ボードでその差は 15 I M P に。

ちなみに、6 N T だが 1 トリック目に♦の A が勝ち、♥を 3 回取った後(4-2 ブレークがわかり、短い方は♦をディスカード)に♣をダック。♣の 3-3、もしくは♠とのエクストラチャンス。実際の形は、♠を 1 回ダックしておく、黒いスートの純正スクイーズになりコントラクトはメークした。

| | |
|-------------|--------------|
| #31 | ♠ 8 4 |
| ディーラ: S | ♥ Q J 10 8 5 |
| N S バル | ♦ 3 |
| | ♣ K 9 7 5 4 |
| ♠ A J 9 5 2 | ♠ Q 10 6 |
| ♥ 7 4 3 | ♥ A K |
| ♦ J 7 5 2 | ♦ 10 8 6 4 |
| ♣ 2 | ♣ J 10 6 3 |
| | ♠ K 7 3 |
| | ♥ 9 6 2 |
| | ♦ A K Q 9 |
| | ♣ A Q 8 |

TAJIMA は♥が長い方(N)がプレーする 4 ♥。♠リードはノーチャンスだが、OL は♣6。絵札を出して、ダミーの勝ち。♦で♠を

ディスカードした後、トランプを出す。その後パンプが間に合い、1 ダウン。

NAITO は強い方(S)がプレーする 4 ♥。♥リードはノーチャンスだが、OL は♣2。プレーするサイドはよかったが、ブレークが悪くて 1 ダウンでプッシュ。

最後のボードもプッシュで TAJIMA チームの勝ち。おめでとうございます。